

年 報

第 38 号

—令和5（2023）年度—



広島県立みよし風土記の丘
みよし風土記の丘ミュージアム
(広島県立歴史民俗資料館)

御 挨拶

広島県立みよし風土記の丘及び広島県立歴史民俗資料館は、昭和 54 年のオープン以来、世代を越えて多くの皆様に「学びとやすらぎの場」として御利用いただいています。

みよし風土記の丘は、約 30 ha の自然の中に点在する 176 基の古墳からなる、史跡浄楽寺・セツ塚古墳群を中心に復原古代住居や、広島県北地方各地から移築した古墳時代の石室、重要文化財旧真野家住宅など、文化財と自然が調和した野外ミュージアムです。

歴史民俗資料館は、「中国山地と江の川」を主な活動テーマとする博物館として、考古学・歴史学・民俗学の観点から調査研究や資料の収集保管を進めるとともに、展示や学習支援などの各種事業を展開しています。

この年報は、令和 5 年度の活動報告です。

展示会として、夏と秋の特別企画展をはじめ、2 回の収蔵資料展、4 回の風土記の丘ギャラリーなどを開催しました。このうち、夏の特別企画展は、「海洋堂フィギュア展Ⅱー手のひらサイズのワンダーランドー」として、世界的フィギュアメーカー株式会社海洋堂が生み出した、精巧で美しい彩色のフィギュア約 3,000 点や、様々なシーンをドラマチックに再現したジオラマを展示しました。秋の特別企画展は、「三次鶺鴒と日本の鶺鴒」として、鶺鴒の歴史と日本の文化における位置付け、さらに日本の鶺鴒の中での三次鶺鴒の共通点と特質を浮かび上がらせることを目的に、三次鶺鴒を歴史・美術・民俗の 3 方向から紹介しました。特別企画展は、「幅広い県民の興味関心に応える展示」と「調査研究成果に基づく地域密着の展示」をバランスよく行うという方針によりテーマを設定し、それぞれ分かりやすい内容となるよう努めました。

学習支援活動として、文化財講座、ふどきの丘体験教室、歴風トークなどを実施し、文化財に対する関心と理解を深めていただきました。また、より満足度の高い新企画ワークショップとして令和 4 年度から開始した、毎回一組限定の「ゆったり歴史体験」も好評を頂いています。学校教育活動での来園・来館時の解説や体験学習指導、また、学校などへ出かけての授業や体験指導を行うアウトリーチ事業なども行っています。

今後も、「文化財を保存し、その活用を図りもって県民の文化的向上に資する」「文化財に関する県民の知識及び教養の向上に資する」というみよし風土記の丘、当館の設置目的を基礎として、生涯学習を担う社会教育・文化施設としても、また学校教育活動を支援する施設としても、より一層の活動の充実を図ってまいりたいと考えています。引き続き、みよし風土記の丘及び歴史民俗資料館への一層の御理解と御支援をいただければ幸いです。

令和 6 年 10 月

広島県立みよし風土記の丘所長

広島県立歴史民俗資料館長

目 次

御 挨 拶

1	沿 革	1
2	施設の概要	3
	(1) 広島県立みよし風土記の丘	3
	(2) みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）	3
3	事業の概要	6
	(1) 展示活動	6
	(2) 学習支援活動	11
	(3) 調査研究活動	19
	(4) 入館者状況	19
	(5) 関係団体	21
4	組織及び運営	23
	(1) 職員	23
	(2) 事業費・運営費	23
5	関係法規	24
	(1) 広島県立みよし風土記の丘設置及び管理条例	24
	(2) 広島県立みよし風土記の丘管理規則	24
	(3) 広島県立歴史民俗資料館設置条例	25
	(4) 広島県立歴史民俗資料館管理運営規則	26
	(5) 広島県教育委員会組織規則（抜粋）	27
	(6) 広島県博物館協議会条例	29

1 沿 革

昭和 32 年 9 月	「浄楽寺古墳群」「七ツ塚古墳群」が広島県史跡に指定
昭和 45 年 9 月	風土記の丘建設に関する請願を県議会において採択
昭和 46 年 8 月	文化庁が「浄楽寺古墳群」「七ツ塚古墳群」を中心とする風土記の丘建設予定地を調査
昭和 47 年 9 月	県知事が、県議会において三次市に風土記の丘を設置するための調査を行うことを表明
10 月	「浄楽寺・七ツ塚古墳群」が史跡に指定
	風土記の丘建設予定地の地形測量委託
昭和 48 年 2 月	県知事が、県議会において三次市に風土記の丘を設置することを表明
10 月	風土記の丘建設予定地の用地買収開始（昭和 49 年 3 月買収完了）
昭和 49 年 12 月	風土記の丘建設工事着工、進入路・管理道・駐車場等設置
昭和 50 年 11 月	建物敷地・疎生林の造成及び修景植栽等工事着工
昭和 51 年 9 月	標識・説明板・案内板・給水施設・焼却炉・便所・道路標識等を設置
	みよし風土記の丘仮オープン
昭和 52 年 10 月	歴史民俗資料館建設工事着工（昭和 53 年 5 月竣工）
11 月	広島県重要文化財「真野家住宅」解体移転工事着工（昭和 52 年 12 月移転完了）
昭和 53 年 4 月	広島県文化財保護審議会に歴史民俗資料館展示計画特別部会を設置
6 月	歴史民俗資料館展示計画推進委員を委嘱
8 月	「真野家住宅」の復元工事着工（昭和 53 年 12 月竣工）
	歴史民俗資料館展示施設工事着工
昭和 53 年 10 月	歴史民俗資料館開設準備室設置
	歴史民俗資料館展示工事着工（昭和 54 年 3 月工事完了）
	風土記の丘修景植栽工事・園銘石設置工事着工（11 月工事完了）
昭和 53 年 11 月	歴史民俗資料館落成式
昭和 54 年 3 月	篠津原第 3 号古墳横穴式石室移築復元
	みよし風土記の丘設置及び管理条例公布
	歴史民俗資料館設置条例公布
4 月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館設置
	開園式及び開館式、一般公開開始
	風土記の丘防火用溜池工事着工・完了
6 月	歴史民俗資料館協議会設置
9 月	つどいの家建設工事着工（昭和 55 年 3 月竣工）
12 月	古代住居復元工事着工（昭和 55 年 3 月竣工）
	みよし風土記の丘友の会結成
	「真野家住宅」に避雷針・火災報知機の設置工事着工（昭和 55 年 2 月工事完了）
昭和 55 年 1 月	「旧真野家住宅」が重要文化財に指定
3 月	古墳説明板・屋外消火栓・自動案内放送設備・防犯燈を設置
昭和 56 年 3 月	宗祐池西遺跡箱形石棺移築復元
11 月	「旧真野家住宅」に放水銃設置工事着手（昭和 57 年 3 月工事完了）
昭和 59 年 3 月	酒屋高塚古墳説明板設置
昭和 60 年 11 月	風土記の丘管理道防護柵設置
昭和 61 年 3 月	復原竪穴住居屋根葺替工事完了
11 月	復原高床倉庫・復原平床住居屋根葺替工事完了
昭和 62 年 9 月	古代住居説明板取替工事
平成 元年 2 月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館を育てる会結成
5 月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館資料館創立 10 周年記念式典・記念行事
	風土記の丘シンボルマーク制定
6 月	歴史民俗資料館増築予定地買収（平成元年 11 月造成工事竣工）
9 月	風土記の丘自然野草園開園
10 月	風土記の丘の地形測量委託
11 月	歴史民俗資料館本館改修工事着工（平成 2 年 4 月竣工）
	歴史民俗資料館新館増築工事着工（平成 3 年 3 月竣工）
平成 2 年 3 月	風土記の丘管理道・遊歩道舗装、修景抜開
	風土記の丘古墳説明板・案内板等改修工事
5 月	歴史民俗資料館本館・民俗資料常設展示館オープン
7 月	野外ふれあいステージ（寄附受納）、帆立貝形古墳日時計設置
平成 3 年 1 月	屋外便所新築工事

平成 3 年	3 月	風土記の丘に屋外時計設置（寄附受納） 歴史民俗資料館新館落成式
	7 月	歴史民俗資料館新館オープン記念式典
平成 5 年	12 月	上水道施設整備竣工
平成 6 年	6 月	「広島県矢谷古墳出土品」が重要文化財に指定
平成 7 年	2 月	歴史民俗資料館を博物館登録
	3 月	つどいの家トイレ改修工事完了
平成 9 年	3 月	「広島県矢谷古墳出土品」の特殊器台・特殊壺の解体修理完了
平成 10 年	3 月	「広島県矢谷古墳出土品」の特殊器台・特殊壺の展示ケースへ免震装置設置
平成 11 年	3 月	野外ふれあいステージ改修工事完了
	10 月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館開設 20 周年記念式典・記念行事
	12 月	「江の川流域の漁撈用具」が重要有形民俗文化財に指定 文化庁から接收刀剣類（赤羽刀 28 口）が譲与
平成 12 年	2 月	「江の川流域の漁撈用具」の指定記念式典
	3 月	「旧真野家住宅」・復原竪穴住居・たたら跡屋根葺替え工事完了 復原高床倉庫柱改修工事・大型施設案内板設置（駐車場）・監視カメラモニターシステム等改修工事完了
平成 13 年	3 月	民俗資料常設展示館・復原高床倉庫屋根葺替え工事、電話装置取替工事完了
平成 14 年	3 月	復原平床住居修復工事完了
	5 月	みよし風土記の丘・歴史民俗資料館のホームページを開設
平成 15 年	4 月	解説ボランティア活動を開始
平成 16 年	3 月	歴史民俗資料館が文化庁から重要文化財の公開承認施設に承認
平成 18 年	11 月	歴史民俗資料館の入館者 100 万人達成
平成 19 年	4 月	歴史民俗展示室を開設
平成 21 年	5 月	比治山大学・広島県立歴史博物館との共催講座を開始
平成 22 年	3 月	復原竪穴住居屋根葺替え工事完了 小学生向けワークブック「みよしふどきの丘まなぶつく 1（常設展示室編）」を刊行
平成 24 年	3 月	復原平床住居屋根葺替え工事完了 小学生向けワークブック「みよしふどきの丘まなぶつく 2（風土記の丘編）」を刊行
	7 月	三次商工会議所、奥田元宗・小由女美術館とのジョイント事業を開始
平成 26 年	1 月	マスコットキャラクター「ハニワだもん」選定
平成 27 年	3 月	「旧真野家住宅」消防設備改修（放水銃）
平成 29 年	1 月	館内消防設備改修（ハロゲン化物消化設備）
平成 31 年	1 月	企画展示室空調設備改修（同年 3 月完了） 「旧真野家住宅」屋根補修工事着手
	2 月	風土記の丘移築石室・石棺案内板付替え工事
令和 元年	8 月	「旧真野家住宅」屋根補修工事完了
	9 月	監視カメラモニターの改修
令和 2 年	3 月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館（3 月 7 日～5 月 11 日まで） 老朽化に伴い展示資料を保全するため、民俗資料常設展示館を閉館 風土記の丘古墳案内板付替え工事（4 枚） 「みよし風土記の丘ミュージアム 常設展示ガイドブック」を刊行
令和 3 年	3 月	風土記の丘古墳案内板付替え工事（2 枚） 風土記の丘入口懸垂幕取付装置設置
	5 月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館 （5 月 8 日～6 月 20 日、8 月 3 日～9 月 30 日、1 月 14 日～3 月 6 日）
令和 4 年	1 月	中央監視装置更新
	11 月	企画展示室空調設備改修完了
	12 月	館内無線 LAN 設置工事完了
令和 5 年	1 月	風土記の丘史跡内法面復旧工事完了
	3 月	館内昇降機設備改修工事完了 風土記の丘管理道修繕工事完了 ポケット学芸員導入 Twitter による広報を開始
	5 月	入館料キャッシュレス決済導入 館内無料 Wi-Fi 提供開始
令和 6 年	3 月	本館・新館・つどいの家 屋上防水工事完了 風土記の丘古墳案内板付替え工事（1 枚） 歴史民俗資料館を博物館法改正に伴い博物館再登録

2 施 設 の 概 要

(1) 広島県立みよし風土記の丘

所 在 地 広島県三次市高杉町・小田幸町

設置目的 浄楽寺・七ツ塚古墳群及び古民家等の文化財を保存し、その活用を図り、もって県民の文化的向上に資する。

施設の概要

総面積 309,450.36 m²

史跡 浄楽寺・七ツ塚古墳群（昭和 47 年 10 月 12 日指定）

面 積 258,964 m²

内 容

（単位：基）

墳 丘 形 態 名	浄楽寺古墳群	七ツ塚古墳群	計
前 方 後 円 墳	0	1	1
帆立貝形古墳	1	2	3
円 墳	98	55	153
方 墳	17	2	19
計	116	60	176

設備の概要

設備名	設置年月	備 考
重要文化財 旧真野家住宅 （昭和 55 年 1 月 26 日指定）	昭和 53 年 12 月	入母屋造、茅葺、 桁行 14.5m、梁間 9.0m
移築石室・石棺		
篠津原第 3 号古墳横穴式石室	昭和 54 年 3 月	
酒屋高塚古墳縦穴式石室		
宗祐池西遺跡箱形石棺	昭和 56 年 3 月	
復原古代住居	昭和 55 年 3 月	
縦穴住居	1	
平床住居	1	
高床倉庫	1	
民俗資料常設展示館	平成 2 年 5 月	令和 2 年 3 月閉館
古代たたら跡	1	
帆立貝形古墳日時計	平成 2 年 7 月	
ふれあいステージ	平成 2 年 7 月	寄附受納
つどいの家	昭和 55 年 3 月	
あずまや	3	
便 所	4	
駐車場	昭和 51 年 9 月 平成 3 年 1 月	大型バス 10 台、 乗 用 車 64 台
説明・案内板	昭和 51 年 9 月	
消火栓・放水銃	昭和 55 年 3 月	
ポンプ	昭和 55 年 3 月	
自然野草園	平成元年 9 月	

(2) みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）

所 在 地 広島県三次市小田幸町 122

設置目的 歴史・考古・民俗等の資料の収集・保存、調査・研究、展示・学習支援活動等を行い、本県の文化財に関する県民の理解を深め、教育・学術・文化の発展に寄与する。

施設の概要

	開館時（当初）	現在（新館増設・本館リニューアル後）
構 造	鉄筋 1 階建、一部地階	地下 1 階地上 1 階 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
延床面積	1,186.5 m ²	3,712.40 m ²

開館時の面積内訳

（単位：m²）

部 門	面積	室 名	面積
展示部門 収蔵部門	691.18	収蔵展示室	423.74
		歴史資料特別収蔵室	30.69
		考古資料特別収蔵室	58.39
		民俗資料特別収蔵室	36.44
		仮収蔵室	37.88
		荷捌室兼工作室	91.34
		燻蒸室	12.70
研究部門	58.41	研究室	30.18
		資料室	19.71
		暗室	8.52
管理部門 サービス部門 そ の 他	436.91	管理室（事務室）	39.21
		管理人室	24.90
		機械室	117.19
		ホール	157.45
		その他	98.16
計			1,186.50

現在の面積内訳（新館増設・本館改修後）

（単位：m²）

部 門	面積	室 名	面積
展示部門	811.34	常設展示室	512.82
		企画展示室	254.77
		歴史民俗展示室	43.75
教育普及部門	252.13	研修室	184.80
		図書室兼資料室	67.33
収蔵部門	909.51	収蔵庫 1	401.29
		収蔵庫 2	44.29
		特別収蔵庫	97.01
		展示器具収納室	77.40
		荷受け・仮収蔵庫	228.32
		燻蒸室	61.20
研究部門	135.38	研究室（学芸課）	57.12
		工作室	78.26
管理部門	626.53	館長室	30.51
		事務室（総務課）	39.21
		会議室	19.41
		準備室	33.20
		湯沸かし室・管理人室	36.83
		倉 庫	39.78
		機械・電気室	360.19
		その他	67.40
サービス部門 そ の 他	977.51	エントランスホール	162.24
		休憩ホール	220.75
		展望ホール	100.80
		便 所	81.55
		廊 下	252.07
		ピロティー	160.10
計			3,712.40

■設備の概要

●電気設備

自家発電機（非常用電源）、電話設備、自動火災報知設備、ガス漏れ警報設備、非常用放送設備、ITV 監視設備、防犯警報設備

●空調設備

冷温水機（A 重油使用）、ユニット空調機 6、全熱交換ユニット 1、パッケージ空調機＋横型エアフィルター 2、ファンコイルユニット 20、除湿機 2

●給排水消火設備

水道・受水槽・屋内消火栓設備及びハロン消火施設

●昇降機設備

油圧式荷物用エレベーター（2 t）1 基、電動式ホイスト 1 基、電動式リフト 1 基

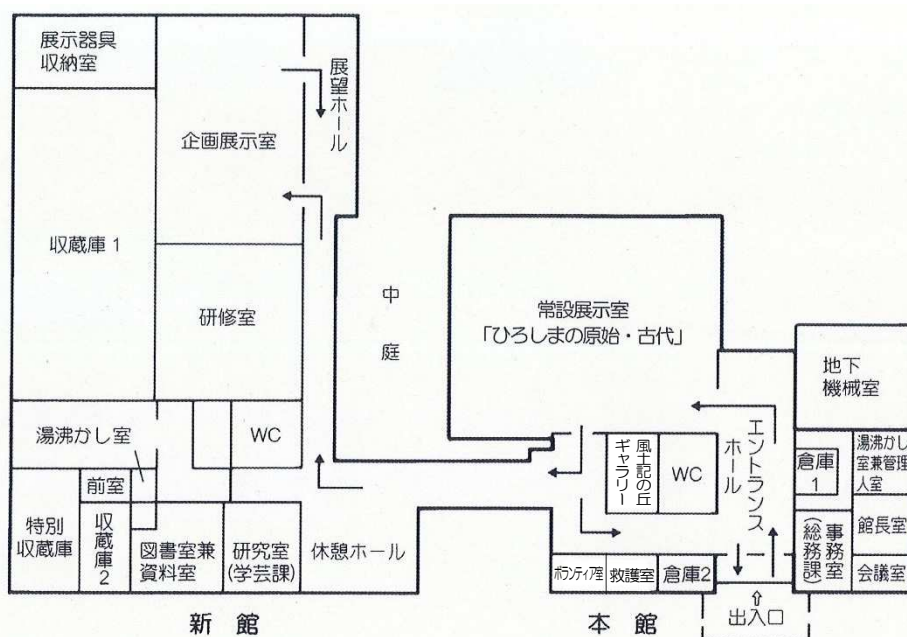
●駐車場など

●広島県立みよし風土記の丘（平面図）

●風土記の丘見学コース



●広島県立歴史民俗資料館（平面図）



3 事業の概要

(1) 展示活動

ア 常設展示

平成2年度にリニューアルオープンした常設展示「ひろしまの原始・古代」は、四つのコーナーで構成しています。

令和4年度にはスマートフォンやタブレットで展示内容の解説を見ることができるアプリ「ポケット学芸員」を導入しました。

① ガイダンスコーナー ―私たちのひろしま― 展示の導入部で、広島県の地形や文化財の位置などを地形模型によって把握できます。また、遺跡分布図や年表なども設置しています。 ○展示構成 広島県の地形と主な文化財、広島県の遺跡分布、歴史年表、展示解説ビデオ（手話・文字解説付き）
② 通史コーナー ―ひろしまの原始・古代― 広島県内で出土した考古資料約900点を始め、各時代の概要を説明した解説パネル、模型などを時代順に展示し、原始・古代の人々の生活の様子や道具の移り変わりなどを展示品によって理解できるようにしています。 ○展示構成 ・地 質 みよし風土記の丘周辺の地史・地質資料 ・旧石器時代 三次盆地の旧石器文化、瀬戸内系文化の拡大 ・縄文時代 道具の変化、縄文土器と交易 ・弥生時代 弥生土器と縄文土器、美しき農民の土器、まつりととむらい、三つに分かれた広島県、地域性のある弥生土器、県北部の四隅突出型墳丘墓 ・古墳時代 古墳と副葬品の変化、古墳の構造と副葬品、前期古墳、中期古墳、後期古墳、 霊をはこぶ動物（鳥）、鉄と古墳、くらしと生産、土師器と須恵器 ・奈良・平安時代 瓦と硯、備後国府跡、下本谷遺跡―推定三次郡衙跡―、広島県の古代寺院、寺町廃寺
③ みよし風土記の丘学習コーナー ―たどってみよう浄楽寺・七ツ塚の古墳たち― 史跡の浄楽寺・七ツ塚古墳群の全体像を模型やパネルによって分かりやすく展示しています。 風土記の丘の1,000分の1の地形模型を中心に、古墳時代の人々の生活を想像復原したジオラマ、浄楽寺・七ツ塚古墳群を構成する円墳・方墳・前方後円墳・帆立貝形古墳の模型、石棺の模型などを展示しています。 ○展示構成 古墳時代の生活、風土記の丘地形模型、風土記の丘の古墳のかたち、古墳の埋葬施設、古墳の出土遺物、三次盆地の主な古墳、発掘調査された古墳
④ 体験コーナー ―ふれてみよう原始・古代に― 展示資料の中から、各時代の代表的な資料のレプリカ等を見学者が直接触れることによって、資料に親しんでもらおうとするものです。復原土器や解説ビデオを設置しています。 ○展示構成 展示資料解説ビデオ（手話・文字説明付き）設置 ・地 質 西酒屋の備北層群大露頭出土のカキ化石 ・縄文時代 帝釈馬渡岩陰遺跡出土の縄文土器 ・弥生時代 矢原遺跡・新迫南遺跡出土の鹿の絵画土器 ・古墳時代 緑岩古墳出土の馬形埴輪・円筒埴輪 ・奈良・平安時代 横見廃寺跡・寺町廃寺跡・上山手廃寺跡出土の軒丸瓦 ・その他、体験教室でつくった土器等

イ 特別企画展

(ア) 夏の特別企画展「海洋堂フィギュア展Ⅱ－手のひらサイズのワンダーランドー」

広島県立歴史民俗資料館、奥田元宋・小由女美術館、三次商工会議所ジョイント事業

趣 旨： 人、乗物、建物、食物、植物、動物、恐竜から空想のアニメキャラクターまで、幅広いモデルを立体的に再現したミニチュアのことを、日本では主にフィギュア（figure）と呼びます。ポリ塩化ビニルやアクリル樹脂など、可塑性があり着色が容易な素材で作られ、モデルを精密に再現・立体化しています。

今回の展示会は、世界的フィギュアメーカー株式会社海洋堂が生み出した、精巧で美しい彩色のフィギュア約3,000点を一堂に展示しました。さらに、様々なシーンをドラマチックに再現したジオラマの展示もあり、フィギュアによる夢の世界をお楽しみいただきました。

本展では、フィギュアという関心の高い題材を、私たちの生活に深いつながりのある大衆文化の一端として御覧いただき、老若男女を問わず来館者がそれぞれ興味のある展示品を楽しみながら、その魅力について語り合う機会を提供しました。

期 間： 7月6日（木）～8月27日（日）

主 催： 広島県立歴史民俗資料館

後 援： 三次市、三次市教育委員会、一般社団法人広島県観光連盟、
一般社団法人三次観光推進機構、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
テレビ新広島、株式会社三次ケーブルビジョン、広島エフエム放送、エフエムふくやま、
中国新聞社

企画協力： 株式会社海洋堂、株式会社龍遊館

入館者数： 6,161人

関連行事： トークショー「海洋堂宮脇センムによる海洋堂フィギュア物語」

期 日： 7月8日（土）

講 師： 宮脇 修一（株式会社海洋堂 取締役専務）

展示解説会

期 日： 7月23日（日）、8月13日（日）

解 説： 島田 朋之（当館）

フィギュア塗装ワークショップ

協 力： 株式会社海洋堂

期 日： 7月29日（土）、8月19日（土）

科学ワークショップ

協 力： NPO 法人三次科学技術教育協会（MISTEE）

期 日・テーマ：

7月30日（日） 時間の科学 砂時計を作ってみよう

8月6日（日） 磁気の科学 方位磁石を作ってみよう

8月11日（金・祝） 浮力の科学 浮沈子を作ってみよう

8月12日（土） 力のモーメントの科学 回転はしご落としを作ってみよう

8月20日(日) ゴムの力 ゴム鉄砲を作ってみよう
スペシャル観察会「夏の星空かんさつ」
共 催： NPO法人三次科学技術教育協会(MISTEE)
期 日： 7月21日(金)
講 師： 武村 精一(NPO 法人三次科学技術教育協会)
TAKE-1グランプリ 木で作ったミニカーで競争しよう！
協 力： 一般社団法人ひろしま森のおもちゃ協会
期 日： 8月20日(日)

(イ) 秋の特別企画展「三次鵜飼と日本の鵜飼」

趣 旨： 三次の夏の風物詩として知られる三次鵜飼は、中世以前から行われてきた伝承がある漁法で、現在は広島県無形民俗文化財に指定され文化的に貴重であるだけでなく、広島県北の主要な観光資源となっています。

現在、鵜飼は、世界的にはおおむね東アジアで、国内では11か所で行われています。国内ではかつて100か所以上で行われていましたが、近世以前から絶えることなく続く所は3～4か所です。三次鵜飼はそのうちの一つで、成立以来一貫して漁業として継続してきた特性も明らかになっており、歴史的にも貴重な存在です。

今回の展示では、鵜飼の歴史と日本の文化における位置付け、さらに日本の鵜飼の中での三次鵜飼の共通点と特質を浮かび上がらせることを目的に、三次鵜飼を歴史・美術・民俗の3方向から紹介しました。また、本展の開催を契機として、三次鵜飼が文化・観光の両面からさらに活性化することをめざします。

展示構成： 第1章 日本の鵜飼の歴史

第2章 日本の鵜飼と世界の鵜飼

第3章 鵜飼と日本文化

第4章 三次鵜飼の世界

期 間： 10月6日(金)～11月26日(日)

主 催： 広島県立歴史民俗資料館、中国新聞社

特別協力： 国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、京都国立博物館、
江の川漁業協同組合、三次鵜飼伝統文化振興会、三次鵜飼鵜匠会

後 援： 三次市、三次市教育委員会、一般社団法人広島県観光連盟、
一般社団法人三次観光推進機構、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、
広島ホームテレビ、テレビ新広島、株式会社三次ケーブルビジョン、広島エフエム放送、
エフエムふくやま、江の川水系漁撈文化研究会

入館者数： 1,575人

関連行事： 記念講演会①

期 日： 10月14日(土)

演 題： 「世界的視野からみた鵜飼と日本の鵜飼」

講 師： 卯田 宗平(国立民族学博物館 教授)

記念講演会②

期 日： 11月4日（土）

演 題： 「日本古代における鵜飼の始まりー考古学視点から」

講 師： 賀来 孝代（毛野考古学研究所 調査整理研究員）

展示解説会

期 日： 10月22日（日）、11月19日（日）

解 説： 葉杖 哲也（当館）

鵜飼実演・鵜に親しむ

期 日： 10月15日（日）

実 演： 日坂 文吾（三次鵜飼鵜匠会会長）

秋のロビーコンサートー川によせてー 箏、十七絃、尺八

期 日： 11月3日（金・祝）

演 奏： 尺八：田高 輝夫、箏：小田 貴美子、渡邊 圭子

ウ 展示会

（ア）新企画「お披露目！収蔵資料展」（後期）

趣 旨： 当館では、昭和54年（1979）の開館以来、広島県に關係する国・県指定文化財を含む考古・歴史・民俗資料を数多く収集しています。本展では、これらの資料を、前期・後期に分け、初公開のものを含めてお披露目しました。

後期展では、収集してきた数多くの資料の中から、三次人形の歴史のほか、江の川流域の川漁で使われた漁撈用具、さらに当館に寄託された熊野神社（三次市島敷町）の県指定文化財などを紹介しました。

展示構成： 第1部 三次人形

第2部 国・県指定文化財

第3部 新収蔵資料

期 間： 4月21日（金）～6月11日（日）

主 催： 広島県立歴史民俗資料館

入館者数： 2,873人

関連行事： 記念講演会

期 日： 5月20日（土）

演 題： 「広島の須恵器の話題あれこれ」

講 師： 安間 拓巳（比治山大学 教授）

展示解説会

期 日： 4月23日（日）、5月14日（日）

解 説： 川上 華恋（当館）

国際博物館の日記念行事 ふどきの丘 春まつり

期 日： 5月14日（日）

テーマ： 昔・むかしの体験イベント大集合！

(イ) 「春の収蔵資料展」(前期)

趣 旨： 当館は開館以来、広島県北部に関係する国・県指定文化財を含む考古・歴史・民俗資料を数多く収集してきました。

本展では、これらの収蔵資料の中から、三次の春を彩る三次人形やひな人形のほか、県北を代表する産業の一つであった、たたら製鉄に関する新収蔵資料を展示しました。また、草戸千軒町遺跡調査研究所開設 50 周年を記念し、草戸千軒町遺跡（福山市）の出土品（広島県立歴史博物館蔵）を紹介しました。

展示構成： 第 1 章 三次人形とひな人形

第 2 章 広島県北のたたら製鉄

第 3 章 草戸千軒町遺跡調査研究所開設 50 周年！発掘調査の歩み

期 間： 1 月 19 日（金）～ 3 月 31 日（日）

主 催： 広島県立歴史民俗資料館

入館者数： 2,259 人

関連行事： 記念講演会

期 日： 3 月 2 日（土）

演 題： 「発掘された伏見人形ー全国の土人形のルーツー」

講 師： 山本 雅和（京都産業大学客員教授・京都市考古資料館館長）

展示解説会

期 日： 1 月 28 日（日）、2 月 18 日（日）、3 月 3 日（日）

解 説： 平川 孝志（当館）

お茶会

期 日： 3 月 3 日（日）

お点前： 森本社中、三次市立川西小学校茶道クラブ

歴風トーク

期 日： 3 月 10 日（日）

テーマ： 「草戸千軒 発掘調査の思い出」

話題提供者： 松下 正司（比治山大学名誉教授）

加藤 光臣（三次地方史研究会事務局長）

山縣 元（元当館学芸課長）

下津間 康夫（元当館館長）

田邊 英男（当館）

遺 跡 紹 介： 山川 聡大（広島県立歴史博物館学芸員）

箏演奏会

期 日： 3 月 24 日（日）

演 奏： 小田 貴美子、渡邊 圭子

(ウ) 風土記の丘ギャラリー

名 称	期 間	作家・所蔵者等	種 別
速報！花輪敬三カップコレクション	4 月 28 日（金）～ 7 月 9 日（日）	当館	民俗

線路は続く	7月21日（金）～10月9日（月・祝）	清原 正明ほか	写真
暮らしと道具のうつりかわり	10月27日（金）～12月24日（日）	当館	民俗
和物 パッチワーク展	1月19日（金）～3月24日（日）	安藤明子教室	民俗

(I) その他の展示

名 称	期 間	作家・所蔵者等	種 別
博学連携展示「常石ともに学園 作品展」	7月23日（金）～8月27日（日）	福山市立常石ともに学園	作品
博学連携展示「三次市立川西小学校 土器作品展」	12月8日（金）～2月12日（月・祝）	三次市立川西小学校	作品
博学連携展示「三次市立神杉小学校 土器作品展」	2月16日（金）～3月10日（日）	三次市立神杉小学校	作品

(2) 学 習 支 援 活 動

学習支援活動は、文化財講座・歴風トーク・ふどきの丘体験教室・歴風ボランティア研修講座・文化財探訪会・七夕まつり・ふどきの丘まつり等を開催し、県内外の方々の生涯学習を支援するとともに、文化財についての知識や理解を深めていただくために実施しました。

ア 文化財講座

文化財についてより深く理解することを目的に、県内外の研究者を招き、各種のテーマで5回の講座を開催しました。

回数	期 日	演 題	講 師	参加人数
1	5月20日（土）	広島須恵器の話題あれこれ	比治山大学教授 安間 拓巳	33
2	7月15日（土）	国史跡 下岡田遺跡について	(公財)広島県教育事業団埋蔵文化財調査室長 渡邊 昭人	31
3	10月14日（土）	世界的視野からみた鵜飼と日本の鵜飼	国立民族学博物館教授 卯田 宗平	37
4	11月4日（土）	日本古代における鵜飼の始まり－考古学視点から	毛野考古学研究所調査整理研究員 賀来 孝代	38
5	3月2日（土）	発掘された伏見人形－全国の土人形のルーツ－	京都産業大学客員教授 山本 雅和	17
計				156

イ 特別講演会・公演会

回数	期 日	演 題	講 師	参加人数
1	5月3日（水・祝）	平家琵琶の調べ	平曲弾き語り奏者 荒尾 努	53
計				53

ウ ふどきの丘体験教室

児童・生徒とその保護者及び一般の方に歴史や文化についての興味や関心を高めるとともに、知識や理解を深めるため体験的な内容の教室を実施しました。

回数	期 日	テ ー マ	講 師	会 場	参加 人数
1	5月14日(日)	こふんの森たんけん① 春のネイチャーゲーム	広島さとやまシェアリング ネイチャーの会	風土記の丘	20
2	8月5日(土)	土器・ハニワをつくろう1 (土器作り)	当館職員	つどいの家	78
3	10月22日(日)	こふんの森たんけん② 秋のネイチャーゲーム	広島さとやまシェアリング ネイチャーの会	風土記の丘	20
4	11月11日(土)	土器・ハニワをつくろう2 (土器焼き)	当館職員	つどいの家	23
5	12月23日(土)	椿あぶらをつくろう	NPO 法人ほしはら山のがっ こう	研修室	58
6	2月17日(土)	こふんの森たんけん③ 野鳥かんさつ	(公財)日本鳥類保護連盟 広島支部三次地方分会会員	風土記の丘	21
計					220

エ 歴風トーク

当館の職員や県内で活動する研究者が、最近の考古・歴史・民俗の身近な話題を提供し、参加者との意見交換を通して、歴史や文化について理解を深めてもらうため実施しました。

回数	期 日	テ ー マ	話題提供者等	参加 人数
1	12月10日(日)	奉納された たたら製鉄関連資料	当館 平川 孝志	25
2	1月14日(日)	可部古墳群について	当館 川上 華恋	28
3	2月25日(日)	戦争体験の継承について	世羅町教育委員会社会教育課 主査 林 光輝	11
4	3月10日(日)	草戸千軒 発掘調査の思い出	比治山大学名誉教授 松下 正司 三次地方史研究会事務局長 加藤 光臣 元当館学芸課長 山縣 元 元当館館長 下津間 康夫 当館 田邊 英男 広島県立歴史博物館学芸員 山川 聡大	38
計				102

オ ゆったり歴史体験

個人や家族を中心とする少人数グループを対象として、資料館・風土記の丘見学と歴史体験ワークショップを組み合わせた事業を実施しました。

回数	期 日	内 容	担 当	会 場	参加 人数
1	5月7日(日)	羽釜炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	3

2	7月9日(日)	羽釜炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	3
3	7月16日(日)	羽釜炊飯、玉作り	当館 田邊 英男 川上 華恋	つどいの家	8
4	7月23日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、勾玉作り	当館 平川 孝志 稲村 由香	つどいの家	10
5	7月30日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	4
6	8月6日(日)	玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	3
7	8月20日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	4
8	9月3日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	8
9	9月24日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	4
10	10月15日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	4
11	11月5日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、玉作り	当館 西村 直城 田邊 英男	つどいの家	12
12	11月19日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	3
13	3月24日(日)	土鍋炊飯、羽釜炊飯、勾玉作り	当館 田邊 英男 稲村 由香	つどいの家	4
計					70

カ 展示解説会

特別企画展や展示会の開催に際して、当館の職員等が展示を解説しました。

期 日	内 容	解 説	参加人数
4月23日(日)	新企画「お披露目！収蔵資料展」(後期)	当館 川上 華恋	15
5月14日(日)	新企画「お披露目！収蔵資料展」(後期)	当館 川上 華恋	10
7月22日(土)	風土記の丘ギャラリー「線路は続く」	清原 正明	7
7月23日(日)	夏の特別企画展「海洋堂フィギュア展Ⅱー手のひらサイズのワンダーランドー」	当館 島田 朋之	43
8月13日(日)	夏の特別企画展「海洋堂フィギュア展Ⅱー手のひらサイズのワンダーランドー」	当館 島田 朋之	33
10月8日(日)	風土記の丘ギャラリー「線路は続く」	清原 正明	10
10月22日(日)	秋の特別企画展「三次鶺鴒と日本の鶺鴒」	当館 葉杖 哲也	6
11月18日(土)	風土記の丘ギャラリー「暮らしと道具のうつりかわり」	当館 川上 華恋	7
11月19日(日)	秋の特別企画展「三次鶺鴒と日本の鶺鴒」	当館 葉杖 哲也	11
12月9日(土)	風土記の丘ギャラリー「暮らしと道具のうつりかわり」	当館 川上 華恋	3
1月28日(日)	「春の収蔵資料展」(前期)	当館 平川 孝志	11
2月18日(日)	「春の収蔵資料展」(前期)	当館 平川 孝志	4
3月3日(日)	「春の収蔵資料展」(前期)	当館 平川 孝志	7
計			167

キ 歴風ボランティア

◆歴風ボランティア研修講座

当館におけるボランティア活動を支援するため、年間9回の研修講座等を開催しました。今年度の新規参加者は5名、修了者は5名でした。

回数	期 日	内 容	講 師	会 場	参加 人数
1	5月7日（日）	ガイダンス・館内施設及び展示の解説	当館 川上 華恋	研修室・バックヤード	2
2	6月4日（日）	みよし風土記の丘解説	当館 川上 華恋	風土記の丘	5
3	6月18日（日）	常設展示の詳細解説及び実習①（勾玉作り）	当館 川上 華恋	常設展示室・ピロティー	2
4	7月2日（日）	実習②（土器作り・土器炊飯）	当館 川上 華恋	ピロティー	2
5	9月3日（日）	ボランティア研究発表	当館 川上 華恋	研修室	4
6	10月29日（日）	史跡等現地研修会	当館 川上 華恋	—	3
7	11月12日（日）	実習③（土器焼成）	当館 川上 華恋	つどいの家	2
8	12月3日（日）	風土記の丘の古墳の観察等による調査	当館 川上 華恋	風土記の丘	4
9	3月17日（日）	研修講座修了証交付式	当館 川上 華恋	研修室	22
計					46

◆解説ボランティア活動

令和5年度は21名が登録し、常設展示の解説、体験活動・イベントのサポートなどを行いました。

ク セタまつり

みよし風土記の丘・歴史民俗資料館を育てる会との共催で実施しました。

期 日	内 容	会 場	参加 人数
7月1日（土）	三次青陵高校軽音同好会による演奏、七夕の飾りつけ、風船ヨーヨー釣りなど	風土記の丘	155

ケ 風土記の丘まつり

周辺の市町や博物館等の協力を得て、歴史的体験イベントを集結しました。

期 日	名 称	内 容（協力者等）	参加 人数
5月14日（日）	春まつり	勾玉作り（島根県立古代出雲歴史博物館）、銅鑊作り（庄原市教育委員会）、組みひもストラップ（府中市教育委員会）、弓矢飛ばし（世羅町すずらんボランティアガイド）、サイエンスショー（NPO法人三次科学技術教育協会）、火起こし・土器炊飯（当館・歴風ボランティア）	829
10月22日（日）	秋まつり	中世衣装体験（広島県立歴史博物館）、科学ワークショップ（NPO法人三次科学技術教育協会）、勾玉作り・フィギュア塗装ワークショップ・あそびの広場（当館・歴風ボランティア）	449
計			1,278

コ 各種行事

期 日	名 称	内 容	参加 人数
7月8日（土）	夏の特別企画展関連行事	海洋堂宮脇セムによる海洋堂フィギュア物語	36
7月21日（金）	夏の特別企画展関連行事・スペシャル観察会	夏の星空かんさつ（共催：NPO法人三次科学技術教育協会、講師：武村 精一）	53
7月29日（土）	夏の特別企画展関連行事	フィギュア塗装ワークショップ	23
7月30日（日）	夏の特別企画展関連行事	時間の科学 砂時計を作ってみよう（NPO法人三次科学技術教育協会協力）	49
8月6日（日）	夏の特別企画展関連行事	磁気の科学 方位磁石を作ってみよう（NPO法人三次科学技術教育協会協力）	20

8月11日(金)	夏の特別企画展関連行事	浮力の科学 浮沈子を作ってみよう (NPO 法人三次科学技術教育協会協力)	37
8月12日(土)	夏の特別企画展関連行事	力のモーメントの科学 回転はしご落としを作ってみよう (NPO 法人三次科学技術教育協会協力)	32
8月19日(土)	夏の特別企画展関連行事	フィギュア塗装ワークショップ	31
8月20日(日)	夏の特別企画展関連行事	ゴムの力 ゴム鉄砲を作ってみよう (NPO 法人三次科学技術教育協会協力)	35
8月20日(日)	夏の特別企画展関連行事	TAKE-1 グランプリ 木で作ったミニカーで競争しよう! (一般社団法人ひろしま森のおもちや協会協力)	18
10月1日(日)	スペシャル観察・体験会	きのこ博士&シェフになろう! (指導:衛藤 慎也)	17
10月15日(日)	秋の特別企画展関連行事	鶺鴒実演・鶺鴒に親しむ (実演:三次鶺鴒鶺鴒匠)	65
11月3日(金・祝)	秋の特別企画展関連行事	秋のロビーコンサートー川によせてー 箏、十七絃、尺八 (尺八:田高 輝夫、箏:小田 貴美子、渡邊 圭子)	72
11月12日(日)	子供の遊び教室	忍者修行 (特定非営利活動法人三次おやこ劇場)	25
3月3日(日)	春の収蔵資料展関連行事	お茶会 (お点前:森本社中、三次市立川西小学校茶道クラブ)	80
3月20日(水・祝)	子供の遊び教室	忍者修行 (特定非営利活動法人三次おやこ劇場)	42
3月24日(日)	春の収蔵資料展関連行事	箏演奏会 (演奏:小田 貴美子、渡邊 圭子)	41
計			676

サ 博物館実習

期 間	受 入 大 学 名	人数
8月1日(火)～8月6日(日)	広島大学	4

シ 職場体験・県庁仕事体験等

期 間	受 入 学 校 名	人数
7月20日(木)～21日(金)	中学生職場体験 三次市立塩町中学校	3
8月2日(水)～4日(金)	県庁仕事体験 広島大学・広島修道大学	2
10月3日(火)～6日(金)	中学生職場体験 県立三次中学校	2
計		7

ス 学校等学習支援活動① (出前授業・アウトリーチ)

期 日	派 遣 先	内 容
4月25日(火)	比治山女子中学校2年生	土器焼き
5月4日(木・祝) 5日(金・祝)	とみしの里協議会	火起こし、土鍋炊飯
5月11日(木)	広島インターナショナルスクール6年生	学芸員の仕事、展示の方法について
5月12日(金)	三次高等学校2年生	調査研究支援
5月24日(水)	福山市立常石ともに学園1～3年生	土器作り
5月30日(火)	広島インターナショナルスクール6年生	展示や作品への指導
6月3日(土)	遊びのオリンピック (於エフピコアリーナ)	勾玉作り
6月15日(木)	広島インターナショナルスクール6年生	研究発表と評価
6月16日(金)	三次高等学校2年生	調査研究支援
6月20日(火)	広島市立可部小学校6年生	土器作り
6月23日(金)	三次高等学校2年生	調査研究支援
6月27日(火)	三次市立川西小学校5・6年生	土器作り
7月13日(木)	福山市立常石ともに学園1～3年生	土器焼き

7月15日(土)	とみしの里協議会	土器・埴輪作り
7月19日(火)	三次市立神杉小学校6年生	土器作り
7月26日(水)	庄原市立山内小学校5年生PTC	火起こし、羽釜炊飯
8月4日(金)	熊野東防災交流センター(小学校3～6年生対象)	勾玉作り
8月18日(金)	ぴあすてっぷ黒瀬	火起こし
9月5日(火)	向原高等学校3年生	土器作り
9月9日(土)	熊野町民会館	火起こし、土器炊飯
9月14日(木)	福山誠之館高等学校定時制全学年	火起こし
9月15日(金)	東広島市立木谷小学校5年生	勾玉作り
10月13日(金)	三次高等学校2年生	調査研究支援
10月16日(月)	庄原市立東小学校6年生	火起こし、土器炊飯、土鍋炊飯
10月17日(火)	向原高等学校3年生	勾玉作り
10月19日(水)	三次市立布野小学校5年生	火起こし、土鍋炊飯
11月3日(金・祝)	とみしの里協議会	土器焼き
11月7日(火)	三次市立川西小学校5・6年生	土器焼き
11月10日(金)	三次高等学校2年生	調査研究支援
11月14日(火)	向原高等学校3年生	土器焼き
11月15日(水)	三次市立布野小学校全校	火起こし、土鍋炊飯
11月16日(木)	竹原市立吉名学園4年生	火起こし、羽釜炊飯
11月17日(金)	三次市立八次小学校6年生	岩屋寺・比叡尾山城跡・熊野神社について
11月23日(木・祝)	野あそびフェス(於備北丘陵公園)	勾玉作り
12月13日(水)	庄原市立口和小小学校6年生	勾玉作り
12月19日(火)	向原高等学校3年生	土鍋炊飯
1月16日(火)	向原高等学校3年生	火起こし、土器炊飯
1月19日(金)	三次高等学校2年生	調査研究支援
2月9日(金)	三次市立神杉小学校6年生	土器焼き
2月9日(金)	三次高等学校2年生	調査研究支援
2月10日(日)	熊野東ふれあい館	土器作り
2月16日(金)	三次高等学校2年生	調査研究支援
2月16日(金)	三次市立十日市小学校3年生	昔の道具
2月16日(金)	庄原市立総領小学校3・4年生	火起こし
3月2日(土)	福山市立郷分幼稚園	火起こし、土器炊飯、昔の道具
3月13日(水)	福山市立郷分幼稚園	勾玉作り
3月14日(木)	三次市立酒河小学校3年生	土鍋炊飯
3月17日(日)	熊野東ふれあい館	土器焼き

セ 学校等学習支援活動② (来館対応)

期 日	来 館 者	内 容
4月12日(水)	広島インターナショナルスクール6年生	常設・園内見学、勾玉作り
4月14日(金)	なぎさ中学校2年生	常設・園内見学、勾玉作り
4月16日(日)	沖田学習セミナー(小学生対象)	常設・園内見学、火起こし、土器炊飯
4月19日(水)	三次市立八次小学校6年生	常設・園内見学
4月29日(土)	ティーライフパートナー(小学生対象)	火起こし
4月29日(土)	放課後等ディサービス ファミサポ(小1～中1年生)	常設・園内見学
5月2日(火)	三次市立川西小学校全校児童	園内見学
5月2日(火)	三次市立田幸小学校全校児童	常設・園内見学
5月12日(金)	ヒツメ会	常設・企画・園内見学
5月27日(土)	福山市立大学	常設・園内見学
5月27日(土)	三次中学校・高等学校(中学3年生、高校2年生)	ガイダンス、資料整理
6月9日(金)	広島市立日浦小学校6年生	常設・企画・園内見学、勾玉作り
6月13日(火)	三次市立川西小学校6年生	常設・企画・園内見学、火起こし

6月17日(土)	三次中学校・高等学校(中学3年生、高校2年生)	資料整理
6月23日(金)	三次市立神杉小学校6年生	常設・園内見学
7月12日(水)	三次市立小童小学校6年生	常設・園内見学
7月14日(金)	三次市立田幸小学校5・6年生	常設・企画・園内見学
7月22日(土)	三次中学校・高等学校(中学3年生、高校2年生)	土器炊飯、資料整理
7月25日(火)	三次市立川地中学校2・3年生	企画・園内見学
8月2日(水)	三次市立八幡小学校5・6年生	常設・企画・園内見学、勾玉作り
8月8日(火)	三次中学校・高等学校(美術部)	企画見学
8月19日(土)	可部南グリーンズみどり少年団	常設・園内見学、勾玉作り
9月15日(金)	三次市立十日市小学校4年生	常設見学、川の学習、勾玉作り、土鍋炊飯
9月16日(土)	三次中学校・高等学校(中学3年生、高校2年生)	資料整理
9月22日(金)	三次市立河内小学校1～4年生	常設・園内見学、火起こし、勾玉作り
9月22日(金)	県立広島大学	常設・園内見学
9月27日(水)	三次市立酒河小学校3年生	常設・園内見学、火起こし
9月29日(金)	東広島市立西条小学校3年生	園内見学、勾玉作り、昔の道具、昔の家
9月30日(土)	東広島市郷土史研究会	常設・園内見学
10月7日(土)	三次中学校・高等学校(中学3年生、高校2年生)	資料整理
10月9日(月)	松江市忌部公民館	江の川の漁撈について
10月18日(水)	大阪南海国際旅行一行	常設・園内見学
10月25日(水)	青空保育園	常設・企画・園内見学
10月27日(金)	三次市立三次小学校3年生	常設・企画見学、灯りの話、土鍋炊飯
11月1日(水)	東区歩こう会	常設・企画・園内見学
11月8日(水)	YMCA 国際幼稚園	園内見学
11月18日(土)	三次中学校・高等学校(中学3年生、高校2年生)	土器作り、拓本
11月26日(金)	尾道文化財愛護少年団	常設・企画見学
11月28日(火)	三次市立栗屋小学校5・6年生	常設・園内見学
11月28日(火)	庄原市立口和小学校6年生	常設・園内見学
12月1日(金)	三次市立酒河小学校6年生	常設・園内見学
1月20日(土)	三次中学校・高等学校(中学3年生、高校2年生)	古文書解説
2月4日(日)	広島市立大学	常設・企画見学
2月10日(土)	三次中学校・高等学校(中学3年生、高校2年生)	古文書解説
2月29日(木)	三次市立青河小学校3・4年生	土鍋炊飯、昔の道具
3月15日(金)	庄原市立西城小学校5・6年生	常設・企画見学
3月16日(土)	三次高等学校2年生	「郷土史」公開発表会

ソ 館外講演・研究発表

期 日	演 題 等	依 頼 先 等	担 当	参加人数
6月17日(土)	吉川興経の生涯	高陽公民館	木村 信幸	115
6月24日(土)	窪田次郎の業績	福山市加茂交流館	西村 直城	50
8月26日(土)	吉川元春の活動から見た毛利両川体制	愛媛県立道後公園湯築城資料館	木村 信幸	85
10月28日(土)	菅茶山と廉塾	神辺文化会館	西村 直城	113
11月18日(土)	神楽の見方と楽しみ方	庄原市帝釈峡博物展示施設時悠館	田邊 英男	32

タ 資料の活用

◆資料の出版・ホームページ掲載・撮影・熟覧

番号	利用 者	利 用 目 的	利 用 資 料 名	許 可 日
1	岡安 雅彦	『日本における覆い焼きの成立と展開(仮題)』への掲載	塚迫遺跡出土土器、大宮遺跡出土土器、西本遺跡群出土土器、槇ヶ坪3号遺跡出土土器、横見廃寺出土土器、矢原遺跡出土土器	7月5日
2	株式会社ファミリーマガジン	『日本の大妖怪(仮)』(宝島社)への掲載	『稻亭物怪録』	8月12日
3	御領の古代ロマンを蘇らせる会	探索!御領の古代ロマン③『穴国の前方後円墳(仮題)』への掲載	御領遺跡出土細線式獣帯鏡破鏡・加飾二重口縁壺、亀山第1号古墳出土資料(常設展示)一括	8月18日
4	飯塚 信幸	研究論文執筆のため	酒屋高塚古墳出土埴輪、四拾貫小原第17号古墳出土埴輪、松ヶ迫遺跡群出土土器	10月5日
5	和田 麻衣子	研究論文執筆のため	松ヶ迫遺跡群出土須恵器(ヘラ書き)一括	10月5日
6	槇 和泉	修士論文執筆のため	亀山第1号古墳出土鉄槍・鉄鉾	10月20日
7	岩本 崇	科研費基盤研究B『器物の「伝世・長期保有」・「復古再生」の実証的研究と倭における王権の形成・維持』にかかわる研究のため	神宮山所在の古墳出土捩文鏡、四拾貫小原第1号古墳出土珠文鏡、四拾貫日南第9号古墳出土獣帯鏡	10月25日
8	株式会社三次ケーブルビジョン	番組「あっちこっち三次」での放映	下本谷遺跡出土石器(黒曜石)、酒屋高塚古墳出土ナイフ形石器	11月8日
9	桑原 隆博	講演のための資料調査	松ヶ迫D地点遺跡出土土器、矢賀迫遺跡群出土土器	11月28日
10	湯本豪一記念日本妖怪博物館	開館5周年記念特別企画展「稲生平太郎誕生290周年稲生物怪録展」(仮)における展示資料の充実のため	稲亭物怪録	11月29日
11	會下 和宏	講演会「古代出雲文化フォーラムXI～古代出雲と備後～」(3/9開催)の発表での利用およびYoutubeでの配信	西願寺D地点出土鉄器、和田原D地点遺跡出土土器	3月6日
12	村田 晋	広島県立歴史民俗資料館研究紀要 第10集への掲載	浄楽寺第12号古墳採集円筒埴輪片	3月8日
13	東広島市教育委員会	広報紙「東ひろしまの遺跡」やホームページ、その他広報普及活動への使用	助平2号遺跡出土分銅形土製品、浄福寺2号遺跡出土分銅形土製品、天神遺跡出土板状土製品	3月24日

◆資料の貸出

番号	貸 出 先	使 用 目 的	貸 出 資 料 名	貸出期間
1	庄原市帝釈峡博物館 展示施設時悠館	常設展示での展示	戸宇大仙山第3号古墳出土耳環・勾玉、牛川遺跡出土土器	4月1日 ～3月31日
2	三次市作木支所	作木郷土資料館常設展示での展示	江の川の漁具	4月1日 ～3月31日
3	可部高等学校	学校教育活動において活用	給人原古墳群出土土器・金属製品	4月1日 ～3月31日
4	広島県教育委員会 文化財課	縮景園で行う梅の実収穫行事での展示	銅鐸(複製品)、銅鏡(複製品)	5月25日 ～6月2日
5	加藤 光臣	三次市生涯学習センターで行う講演「小国民のくらしのことなど」で実物資料として提示	電燈笠	7月20日 ～7月25日

6	庄原市教育委員会	庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館常設展示での展示	大原1号遺跡出土土器、戸宇大 仙山遺跡群出土土器	7月22日 ～3月31日
7	東広島市教育委員 会	企画展「古からのメッセー ジ」での展示	助平2号遺跡出土分銅形土製 品、浄福寺2号遺跡出土分銅形 土製品・紡錘車・模造鏡、天神遺 跡出土板状土製品	1月31日 ～3月27日
8	廿日市市教育委員 会	市内出土文化財の調査のため	冠遺跡群D地点出土石器	3月21日 ～令和7年 3月20日

(3) 調査研究活動

ア 総合研究

当館が、中国山地と江の川水系の中心に位置する三次市に所在することから、開館以来、「中国山地と江の川をめぐる歴史・文化」を活動のテーマとし、考古部門では「広島県及び中国山地の文化」、民俗部門では「江の川水系の漁撈民俗」、歴史部門では「中国山地のたたら製鉄」を中心に調査研究を進めています。

これらの調査研究の成果は、展示会・講演会・刊行物等で広く公開し、県民の歴史や民俗・文化に対する理解が図られるよう努めるものです。

イ テーマ研究

研究分野や地域を絞って調査研究を進めるもので、その成果は次年度以降の展示会等で公開します。

令和5年度は、①「だまし絵（トリックアート）の歴史」と②「古代の馬文化」に取り組みました。①は、ユニークなアートであり、昔から洋の東西を問わず制作されてきただまし絵（トリックアート）について、東京トリックアート迷宮館等の収蔵作品を中心とした現代のトリックアートの調査を行いました。②は、広島県内の出土馬具類や「土馬」出土遺跡など古墳時代から古代にかけての考古資料を中心に、古代を生きた馬の様子について調査を行いました。

(4) 入館者状況

ア 常設展

月 別	開館 日数	有料入館者数					免除入館者数				入館者 総 計	1 日 平均
		個 人		団 体		合計	一般 大学	高校生以下		合計		
		一般	大学	一般	大学			学校行事	個人			
4	26	105	4	3	0	112	391	503	84	978	1,090	41.9
5	27	237	18	10	60	325	987	160	578	1,725	2,050	75.9
6	26	124	2	5	0	131	433	67	35	535	666	25.6
7	26	109	5	1	0	115	2,195	0	462	2,657	2,772	106.6
8	28	128	4	16	0	148	3,523	0	951	4,474	4,622	165.1
9	26	182	3	17	2	204	361	296	59	716	920	35.4
10	26	116	0	21	0	137	1,082	0	499	1,581	1,718	66.1
11	26	71	2	2	0	75	1,093	30	140	1,263	1,338	51.5
12	23	52	5	1	0	58	260	31	48	339	397	17.3
1	23	60	4	2	0	66	389	3	26	418	484	21.0
2	25	129	11	25	0	165	540	10	57	607	772	30.9
3	27	120	12	24	0	156	857	32	126	1,015	1,171	43.4
計	309	1,433	70	127	62	1,692	12,111	1,132	3,065	16,308	18,000	58.3

イ 特別企画展

月 別	開館 日数	有料入館者数							免除入館者数			入館者 総 計	1 日 平均
		個 人			団 体			合計	一般	高校生 以 下	合計		
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中						
7	22	1,020	46	226	43	1	7	1,343	732	47	779	2,122	96.5
8	25	1,975	114	594	70	4	6	2,763	1,224	52	1,276	4,039	161.6
10	21	97	3	4	4	0	0	108	394	188	582	690	32.9
11	24	122	4	8	5	24	18	181	626	78	704	885	36.9
計	92	3,214	167	832	122	29	31	4,395	2,976	365	3,341	7,736	84.1

ウ 入館者の推移

年度	開館 日数	常設展	企画展	有料 入館者数	免除 入館者数	入館者 総数	1 日 平均	累計
昭和 54	283	47,513	—	47,513	—	47,513	168	47,513
55	305	47,943	—	47,943	—	47,943	157	95,456
56	302	44,917	—	44,917	—	44,917	149	140,373
57	306	46,338	—	46,338	—	46,338	151	186,711
58	307	43,633	—	43,633	—	43,633	142	230,344
59	306	45,265	—	45,265	—	45,265	148	275,609
60	306	43,876	—	43,876	—	43,876	143	319,485
61	306	43,311	—	43,311	—	43,311	142	362,796
62	308	42,060	—	42,060	—	42,060	137	404,856
63	309	38,376	—	38,376	—	38,376	124	443,232
平成 元	184	24,830	—	24,095	735	24,830	135	468,062
2	284	40,643	—	27,096	13,547	40,643	143	508,705
3	313	30,185	27,425	38,760	18,850	57,610	184	566,315
4	309	30,062	18,656	34,427	14,291	48,718	157	615,033
5	309	25,158	18,790	28,437	15,511	43,948	142	658,981
6	308	27,377	17,015	33,508	10,884	44,392	144	703,373
7	309	23,210	15,846	29,571	9,485	39,056	126	742,429
8	312	21,368	13,332	24,849	9,851	34,700	111	777,129
9	311	14,925	9,051	17,607	6,369	23,976	77	801,105
10	305	21,674	3,661	15,550	9,785	25,335	83	826,440
11	311	17,254	3,594	12,386	8,462	20,848	67	847,288
12	310	18,573	4,134	13,199	9,508	22,707	73	869,995
13	312	17,435	3,440	11,654	9,221	20,875	66	890,870
14	313	20,979	3,823	10,122	14,680	24,802	79	915,672
15	314	20,877	3,297	9,623	14,551	24,174	76	939,846
16	312	19,989	5,727	10,855	14,861	25,716	82	965,562
17	310	14,494	2,073	6,173	10,394	16,567	53	982,129
18	311	20,210	3,529	9,357	14,382	23,739	76	1,005,868
19	314	24,160	9,776	13,003	20,933	33,936	108	1,039,804
20	313	21,069	7,523	10,101	18,491	28,592	91	1,068,396
21	314	19,522	6,579	9,602	16,499	26,101	83	1,094,497
22	312	16,547	3,862	6,074	14,335	20,409	65	1,114,906
23	312	18,911	5,000	7,570	16,341	23,911	76	1,138,817
24	313	18,948	5,005	6,035	17,918	23,953	76	1,162,770
25	316	25,517	9,018	10,055	24,480	34,535	109	1,197,305
26	313	21,222	6,625	5,535	22,312	27,847	88	1,225,152
27	316	31,418	17,662	15,133	33,947	49,080	155	1,274,232

28	313	22,923	9,133	7,328	24,728	32,056	102	1,306,288
29	311	23,811	10,089	7,905	25,995	33,900	109	1,340,188
30	308	20,055	6,823	5,502	21,376	26,878	87	1,367,066
令和 元	287	21,154	8,869	7,216	22,807	30,023	104	1,397,089
2	273	11,598	3,602	3,351	11,849	15,200	55	1,412,289
3	172	8,864	2,451	2,157	9,158	11,315	65	1,423,604
4	305	14,966	5,283	4,290	15,959	20,249	66	1,443,853
5	309	18,000	7,736	6,087	19,649	25,736	83	1,469,589
計	13,576	1,191,160	278,429	927,445	542,144	1,469,589		

(5) 関 係 団 体

ア みよし風土記の丘友の会の活動状況

◆会員数 121 名（令和 6 年 3 月末現在）

◆役 員 会 長 吉川 昌彦

副 会 長 鷺尾 実 原田 隆雄

常務理事 木村 信幸

理 事 上重 武和 四車 ユキコ 中村 芳昭

会計監事 木村 志郎 大岡 廉

◆実施事業

文化財講座	5 回
ふどきの丘体験教室	6 回
歴風トーク	4 回
会報の発行	1 回
ふどきの丘まつり	2 回

イ 広島県歴史民俗資料館等連絡協議会の活動状況

◆「広島県歴史民俗資料館等職員及び県内文化財担当者一覧」（令和 5 年度）の作成

会報「れきみんきょう」№54 の作成

◆総 会 7 月 20 日（木）

会 場 安芸高田市歴史民俗博物館

議 題 令和 4 年度年度事業報告及び決算報告について

令和 5 年度事業計画案及び予算案について

◆第 80 回研究会 7 月 20 日（木）

会 場 安芸高田市歴史民俗博物館

内 容 「コロナ禍後の博物館活性化に向けて」

講 演 「八雲立つ風土記の丘の誘客活動と、しまねミュージアム協議会の活動」

島根県立八雲立つ風土記の丘館長 高屋 茂男

報 告 「安芸高田市における博物館活性化への取り組みについて」

安芸高田市歴史民俗博物館副館長 秋山 哲治

「あってよかった！我が町の美術館―地域に必要とされる美術館をめざして―」

三良坂平和美術館館長 元泉 園子

見 学 安芸高田市歴史民俗博物館展示見学

◆第 81 回研究会 11 月 16 日（木）

会 場 広島市郷土資料館

内 容 「学校と博物館」

講 演 「学校が求める博物館の活用」

広島市西部地域交流センター（いきいきプラザ）主任 福島 忠則

報 告 「広島市江波山気象館における学校団体対応について」

広島市江波山気象館 主幹学芸員（事）主任 脇阪 伯史

「広島市郷土資料館における学校団体受入の実際」

広島市郷土資料館 主任指導主事 河村 直明

見 学 広島市郷土資料館学校対応プログラムの実例と学校対応ボランティア

ボランティア「ひろしま歴史探検隊」による解説・体験指導「カキ養殖」解説

・「石臼できなこ作り」体験指導

4 組 織 及 び 運 営

(1) 職員

歴史民俗資料館

館 長 木村 信幸
 総務課 課 長 森信 真樹
 主 事 朽木 美咲
 ワークサポート職員 林 奈千代
 学芸課 課 長 西村 直城
 主任学芸員 葉杖 哲也
 主任学芸員 島田 朋之
 主任学芸員 平川 孝志
 学 芸 員 川上 華恋
 学芸員（エルダー）田邊 英男
 学芸員（エルダー）唐口 勉三
 （兼）主任学芸員 尾崎 光伸
 （兼）主任学芸員 花本 哲志
 （兼）主任学芸員 岡野 将士
 （兼）主任学芸員 久下 実
 （兼）主任学芸員 渡部 史之
 （兼）学 芸 員 山川 聡大
 （兼）学 芸 員 杉山 歩夢
 （兼）学 芸 員 川邊 あさひ
 （兼）学芸員（エルダー）大上 裕士
 文化施設事務従事員 稲村 由香

みよし風土記の丘

（兼）所 長 木村 信幸
 （兼）主 査 森信 真樹
 （兼）主任学芸員 西村 直城
 （兼）主任学芸員 葉杖 哲也
 （兼）主任学芸員 島田 朋之
 （兼）主任学芸員 平川 孝志
 （兼）学 芸 員 川上 華恋
 （兼）学芸員（エルダー）田邊 英男
 （兼）学芸員（エルダー）唐口 勉三
 （兼）主 事 朽木 美咲

(2) 事業費・運営費

区 分	内 訳	金 額（単位：千円）
歴史民俗資料館 管理運営費（経常）	資料館運営費	42,396
	風土記の丘管理費	6,910
	資料館ゴミ処理対策費	85
	広報出版活動費	397
	小 計	49,788
歴史民俗資料館 管理運営費（政策）	資料収集整理保存活動費	15
	調査研究活動費	316
	展示活動費	10,264
	生涯学習推進費	442
	小 計	11,037
歴史民俗資料館設備修繕	屋上防水工事、LED 化設計等	144,668
合 計		205,493

5 関係法規

(1) 広島県立みよし風土記の丘設置及び管理条例

昭和 54 年 3 月 13 日

広島県条例第 3 号

(設置)

第 1 条 浄楽寺・セツ塚古墳群及び古民家等の文化財（以下「古墳群等」という。）を保存し、その活用を図り、もって県民の文化的向上に資するため、広島県立みよし風土記の丘（以下「風土記の丘」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 風土記の丘の位置は、三次市高杉町及び小田幸町とし、その区域は、知事が告示する。

(職員)

第 3 条 風土記の丘に、所長その他必要な職員を置く。

2 所長は、風土記の丘の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(遵守事項)

第 4 条 風土記の丘の区域内においては、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 土砂を採取し、土地の形状を変更する等古墳群等を損なう行為をしないこと。
- (2) 施設及び設備をき損し、又は汚損しないこと。
- (3) その他知事が定める事項

(行為の許可)

第 5 条 風土記の丘の区域内において、行商、募金、宣伝、興行その他これらに類する行為をしようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

(委任規定)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、風土記の丘の内部組織その他管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。

(2) 広島県立みよし風土記の丘管理規則

昭和 54 年 3 月 20 日

広島県教育委員会規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この教育委員会規則は、広島県立みよし風土記の丘（以下「風土記の丘」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(施設及び設備の管理)

第 2 条 所長は、風土記の丘の設置目的を達成するため、浄楽寺、セツ塚古墳群及び古民家等の文化財（以下「古墳群等」という。）並びに施設及び設備の保全管理に関し周到な計画のもとに適切な措置を講じなければならない。

2 所長は、古墳群等並びに施設及び設備がき損し、又は滅失したときは、速やかに教育長に報告しなければならない。

(遵守事項)

第 3 条 風土記の丘の区域内においては、広島県立みよし風土記の丘設置及び管理条例（昭和 54 年広島県条例第 3 号。以下「条例」という。）第 4 条第 1 号及び第 2 号に掲げる事項のほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 動植物を採捕し、又は傷つけないこと。
- (2) 駐車場以外の場所に車を乗り入れ、又は駐車しないこと。
- (3) 指定の場所以外の場所にごみその他の汚物又は廃物を捨て、又は放置しないこと。
- (4) 他人に対し著しく粗野な行為その他の行為をして迷惑をかけないこと。

(5) 公共の保安、衛生、風紀上障害となる行為をしないこと。

(6) その他係員の指示に従うこと。

(退去命令)

第4条 教育長は、条例若しくはこの教育委員会規則に定める事項に違反した者に対し、風土記の丘の区域から退去を命ずることができる。

(駐車の拒否)

第5条 教育長は、自動車次各号のいずれかに該当するときは、当該自動車の運転者又は管理について責任のある者に対し、駐車場における駐車を拒否することができる。

(1) 発火、引火又は爆発のおそれのある物品を積載しているとき。

(2) 他の自動車の駐車に支障となる荷物を積載しているとき。

(損害の責任)

第6条 古墳群等、その他の施設及び設備をき損し、又は滅失した者は、それによつて生じた損害を賠償しなければならない。

第7条 この教育委員会規則に定めるもののほか、風土記の丘の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この教育委員会規則は、昭和54年4月1日から施行する。

(3) 広島県立歴史民俗資料館設置条例

昭和54年3月13日

広島県条例第4号

(設置)

第1条 文化財に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、広島県立歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 資料館の位置は、三次市小田幸町とする。

(業務)

第3条 資料館は、次の業務を行う。

(1) 歴史、考古、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関すること。

(2) 歴史、考古、民俗等の資料の調査研究に関すること。

(3) その他県民の文化財に関する知識及び教養に資するために必要な業務を行うこと。

(職員)

第4条 資料館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、資料館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(入館料の納付)

第5条 資料館の展示する資料を閲覧する者は、入館料を納付しなければならない。

2 入館料の額は、別表のとおりとする。

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、入館料を減免することができる。

4 既納の入館料は、返還しない。

(遵守事項)

第6条 資料館においては、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 展示資料、展示設備等に触れないこと。

(2) 許可を受けないで、展示資料の模写又は撮影をしないこと。

(3) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑をかけないこと。

(4) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食をしないこと。

(5) その他教育委員会が定める事項

附 則

この条例は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月8日条例第5号抄）

1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ該当各号に定める日から施行する。

(1)～(3) 略

(4) 前三号に掲げる規定以外の規定 平成31年10月1日

別表（第5条関係）

(1) 通常の展示の場合

利用者の区分	個人	団体（20人以上の場合とする。）
大学生及びこれに準ずる者	一人1回 150円	一人1回 120円
その他満15歳以上の者 （中学校又は高等学校の生徒及びこれに準ずる者を除く。）	一人1回 200円	一人1回 160円

(2) 特別の展示の場合

一人1回 1,040円以内で知事が定める額

(4) 広島県立歴史民俗資料館管理運営規則

昭和54年3月20日

広島県教育委員会規則第6号

（趣旨）

第1条 この教育委員会規則は、広島県立歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条 資料館の開館時間は、9時から17時までとする。

2 教育長は、必要と認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

（休館日等）

第3条 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「法律」という。）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日曜日、土曜日又は休日以外の日）

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

2 教育長は、必要と認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は、同項の休館日において臨時に開館することができる。

3 教育長は、前項の規定により、臨時に休館し、又は開館しようとするときは、あらかじめ、公告するものとする。

（入館券の購入等）

第4条 資料館の展示する資料を観覧しようとする者は、入館前に、入館券を購入しなければならない。

2 前項の規定により入館券を購入した者は、資料館に入館する際には、入館券を係員に提示しなければならない。

3 入館券は、これを返還して現金の還付を受け、又は紛失その他の理由によつても再交付を受けることができない。著しく汚染し、又は損傷した入館券は、無効とする。

第5条 次の各号に掲げる者については、それぞれ該当各号に定める展示に係る入館料を免除する。

(1) 身体障害者手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

(2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

(3) 療育手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

(4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

(5) 満65歳以上の者 通常の展示

(6) 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生 通常の展示

(7) 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校、高等学校若しくはこれらに準ずる学校の校長（幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長）が学校教育活動であることを証明した場合の当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校若しくは当該高等学校の生徒若しくはこれらに準ずる者（以下「幼児等」という。） 特別の展示

- (8) 幼児等の引率者 通常の展示又は特別の展示
 (9) 特別の展示と併せて通常の展示を観覧する者 通常の展示
- 2 次の各号のいずれかに該当する者については、広島県教育委員会が行う展示に係る入館料を免除する。
- (1) 法律第2条に規定するこどもの日における小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者
 (2) 法律第2条に規定する文化の日における入館者
 (3) ひろしま教育の日を定める条例（平成13年広島県条例第40号）第3条に規定するひろしま教育ウィークにおける小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者
- 3 前2項のほか、教育長が特別の理由があると認めるときは、入館料を減免することができる。
- 4 第1項第1号から第7号までのいずれかに該当し、入館料の免除を受けようとする者は、該当することを証する書類を提示しなければならない。
- （遵守事項）

第6条 資料館においては、広島県立歴史民俗資料館設置条例（昭和54年広島県条例第4号）第6条第1号から第4号までに掲げる事項のほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示資料、展示設備等をき損し、又は汚損しないこと。
 (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物を携行しないこと。
 (3) その他係員の指示に従うこと。

（禁止行為）

第7条 資料館においては、次の各号に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育長の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 行商その他これに類する商行為
 (2) 寄附の募集
 (3) 宣伝その他これに類する行為
 (4) 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

（入館の制限等）

第8条 教育長は、前2条の規定に違反するおそれのある者に対しては資料館への入館を拒否し、これらの規定に違反した者に対しては資料館からの退去を命ずることができる。

（損害の責任）

第9条 資料館の展示資料又は施設若しくは設備をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

（補則）

第10条 この教育委員会規則に定めるもののほか、資料館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この教育委員会規則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月22日教育委員会規則第3号）

この教育委員会規則は、平成30年4月1日から施行する。

(5) 広島県教育委員会組織規則（抜粋）

平成9年4月1日

広島県教育委員会規則第4号

第2章 事務局

第2節 地方機関

第4款 みよし風土記の丘

（名称及び位置）

第20条 広島県立みよし風土記の丘設置及び管理条例（昭和54年広島県条例第3号）第1条の規定により設置された広島県立みよし風土記の丘の名称及び位置は次のとおりである。

名 称	位 置
広島県立みよし風土記の丘	三次市高杉町及び小田幸町

(分掌事務)

第 21 条 広島県立みよし風土記の丘は、次に掲げる事務を分掌する。

- (1) 古墳群の保存管理及び公開に関すること。
- (2) 古墳群の調査研究に関すること。
- (3) 施設を一般の利用に供すること。

第 4 章 学校以外の教育機関

第 7 節 歴史民俗資料館

(名称及び位置)

第 43 条 広島県立歴史民俗資料館設置条例（昭和 54 年広島県条例第 4 号）第 1 条の規定により設置された広島県立歴史民俗資料館（以下「歴史民俗資料館」という。）の名称及び位置は次のとおりである。

名 称	位 置
広島県立歴史民俗資料館	三次市小田幸町

(業務)

第 44 条 歴史民俗資料館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 歴史、考古、民俗等の資料の調査研究に関すること。
- (3) その他県民の文化財に関する知識及び教養に資するために必要な業務に関すること。

(内部組織)

第 45 条 歴史民俗資料館に次の課を置く。

総務課

学芸課

(各課の分掌事務)

第 46 条 歴史民俗資料館の各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- (1) 公印の管理に関すること。
- (2) 文書及び物件の収受、発送及び整理保存に関すること。
- (3) 館員の人事、給与、服務及び福祉厚生に関すること。
- (4) 令達予算の執行に関すること。
- (5) 施設及び設備の管理保全に関すること。
- (6) 前各号のほか、館内の連絡調整及び学芸課の所掌に属しない館務に関すること。

学芸課

- (1) 歴史、考古、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 歴史、考古、民俗等の資料の調査研究に関すること。
- (3) その他県民の文化財に関する知識及び教養に資するために必要な業務に関すること。

第 5 章 附属機関

(附属機関)

第 63 条 法令又は条例の定めるところにより設置された附属機関の名称、目的及びその主管課は、次のとおりとする。

(抜粋)

主管課	名 称	目 的
文化財課	広島県博物館協議会	広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館及び広島県立歴史博物館の運営に関し、教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べること。

附 則（平成 29 年 3 月 23 日教育委員会規則第 2 号）

この教育委員会規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(6) 広島県博物館協議会条例

平成 13 年 3 月 26 日

広島県条例第 3 号

(設置)

第 1 条 広島県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に、広島県博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館及び広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第 2 条 協議会は、委員 15 人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

(委員の任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 4 条 協議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 5 条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 6 条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例（昭和 43 年広島県条例第 38 号）は、廃止する。

(広島県立歴史博物館設置条例の一部改正)

3 広島県立歴史博物館設置条例（平成元年広島県条例第 23 号）の一部を次のように改正する。

第 7 条を削り、第 8 条を第 7 条とする。

利 用 案 内

■ みよし風土記の丘

開園時間… 9:00～17:00 年中無休・入園無料

■ 歴史民俗資料館

開館時間… 9:00～17:00（入館は 16:30 まで）

休 館 日… 月曜日（祝・休日の場合は開館）

※月曜日が祝・休日の場合は開館し、この日以降最も近い平日（土曜日を除く）に休館します。

年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

入 館 料… 一 般 200 円（160 円）

大 学 生 150 円（120 円）

高校生以下及び満 65 歳以上 無料

※（ ）は 20 人以上の団体料金

※特別企画展は別料金です。

※学校教育活動として、所定の手続きにより入館する高等学校までの園児・児童・生徒の引率者は、常設展及び特別企画展の入館料が免除されます。また、常設展には他にも、入館料の各種免除規定があります。

※その他、資料館と風土記の丘の利用に当たっては、気軽に資料館に御相談ください。



● 歴史民俗資料館まで

（自家用車） 三次 IC から約 10 分

三次東 JCT・IC から約 20 分

三良坂 IC から約 10 分

（タクシー） 三次駅から約 15 分

（バ ス） 三次駅から廻神経由三和支所行、あるいは上田小跡行に乗車、風土記の丘入口下車（日・祝日運休）

（J R） 神杉駅下車徒歩約 3 km

● 風土記の丘まで

神杉駅下車風土記の丘北口まで徒歩約 1.5km

広島県立みよし風土記の丘
みよし風土記の丘ミュージアム
(広島県立歴史民俗資料館)

年報 第38号 ー令和5(2023)年度ー

発行日 令和6年10月8日
編集・発行 広島県立歴史民俗資料館
〒729-6216 広島県三次市小田幸町122
TEL (0824) 66-2881 FAX (0824) 66-3106
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekimin/>

